



日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

定一部金貳錢 廣告五錢 印刷費五錢 零售每份五錢 休日祝日ノ型 福島縣下城町長橋町三五番 電話六三〇番

刊夕日二十月一十

平町追憶 (四)
島田 忠 夫
◇小島先生
その日豫め電話で御都合を伺つてから、「常盤毎日」の川崎小島氏を訪れた。丁度日曜であつたので書齋に容いだ川崎氏は、温顔を以つて迎へて下さつた。あの昔ながらの童顔は、私が小學生の頃胸をおどらせ乍ら聞いた童話の先生、小島先生に外ならなかつた。書齋は南向の二階の一室で壁を飾つた書棚は、また人形棚でもある。それ程美しい種

々な人形、郷土玩具の類が夥しく蒐集されて、多趣味な小島先生の一面を語つてゐる。郷土玩具のこと、人形のこと、童話のこと、童話のこと、繪のこと、話は仲々盡きない。やがて心盡この料理とビールが運ばれらる。あの朗かな聲韻は昔ながら小島先生であると思ふた。その頃からもう十餘年を経てゐる。しかも若々しい小島先生の話は明快な人物の且且に移つた。そして最後、先頃物故した月見町の石材商にして奇人、喜多林之助翁のことで談話を打ち切つた。辭する時私は川崎氏に乞はるゝまゝに書帳に

氏のカラカリチニアを描いた。拙ない酔後の筆は後日の思出のためにあやしげな記念を残した。
スター好 ナフトール着尺
新柄 モス着尺
新柄 ホグシ銘仙
其外色々取揃申候
平町 (電話五七番)
龜田屋

スピード
定價金壹圓
代理店 エビスヤ商店
自轉車乗用家の驚異 勞力半減 速度倍加
大和家
デンワ じょうよんばん
大蒲焼
鶴龜の意匠凝した おいしい 御土産折共 五品..... 御銚子壹本付

女王醬油御大典記念
高級醬油 九升樽 五圓五十錢
最上醬油 九升樽 四圓五十錢
極上醬油 九升樽 貳圓七十錢
期間 (十一月十六日ヨリ) 四十五日
十一月三十日マデ
一萬樽限り
平町材木町 (電話七四一番)
ヤマト醬油株式會社
營業所

御料理仕出し
うどん そば
天ぷら
鰻蒲焼
まもつ屋

外科専門
花内外 柳臟科 病外一科科般
診療時間 (午前八時より午後九時まで) 但し急患は此の限にあらす
安齋外科醫院
平町田町大通り 電話四三三六番

奉祝記念盃 大賣出し
御大禮記念木盃の御用命是非和久井屋へ種々取揃へてありませす 御越下さい
中一丁目
和久井屋
電話四〇五番
内羅專門妙藥 **愛馬散**
小野屋藥店

極上中學服入荷
一年生位 四圓五十錢
二年生位 四圓八十錢
三年生位 五圓十錢
平二なかや洋服店 電二〇三

内臟外科 骨關節外科 整形外科 婦人科
平町町川町 木村寅次郎
院長 木村寅次郎
外 科 産婦人科
木村醫院
電話一六四番

御大禮記念セイコー抽籤特賣
賞品總額拾壹萬參千圓
賞品 壹百圓 (價券) 五十本
貳百圓 同 同 五十本
三百圓 同 同 五十本
四百圓 同 同 五十本
五百圓 同 同 五十本
七圓 同 同 五百本
七圓 同 同 五百本
一本も空籤なし
國民の擧つて奉祝する御大禮は近づきました。此の曠古の御盛儀を記念するために國産セイコー腕時計の抽籤特賣を發表致します。永く保存が出来御使用に便利な絶好の記念品として御薦め致します。
特約店 **大谷時計病院**
平町三丁目(電話一九番)

新築移轉 耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院
秋の御用意
幸福印の特價提供
通學服の特價提供
極上小倉製半ズボン上下
一二年用.....一圓九十錢
三四年用.....二圓十錢
三五年用.....二圓三十錢
四五年用.....二圓五十錢
五六年用.....二圓七十錢
高等科用.....三圓十錢
中學生用.....三圓五十錢
秋冬帽子各種取揃
平町五丁目(電話三五三番)
モリタヤ洋品店

平町擧げて 御盛典を壽ぐ

裝飾の美、催しの數々 萬歳の聲天に轟く

平町に於ける御大典裝飾は各町に於て夫々異なるが何れも心から御盛典を壽ぎ祝し奉る爲めになしたるもの下各町内の入口、中央其他に大アーチが造られ平町全町で此の大アーチが二十ヶ所を敷へる程である、各戸には紅白の祝柱、幔幕奉祝の提灯、大イルミネーション其他種々の裝飾が施された、當日は各商業其他の營業は全部休業して奉祝をしそれに各町別々に御大典記念として敬老會表彰會等の催しをなすとか、或は奉祝の爲めの催しが夫々あつた

午後三時から松ヶ岡公園に官民合同の遙拜式を舉行したが定刻先づ伏見町長の挨拶あり司會者伏見町長の發聲にて萬歳を唱へ參會者これに和して萬歳を三唱し閉式後同席に於て盛大な祝賀の宴を張つた

御大典奉祝、念として平町に催されたものを擧げると第一が本縣農事試験分場主催の園藝品共進會、それに石城町村長支會主催自分資料展覽會、本縣農會主催農具實演展覽會等更に郡教育會主催郡内小學校兒童成績品展覽會、一般的のもの

殊に人目を惹いたのは材木町の大神樂、六七丁目の花電車、鍛冶町の模擬飛行機などである、南町の假裝行列なども當夜の呼びもの、一つに數ふべきである

無風流な人達よ 絶対に枝を折るな

年々荒される川前の紅葉 平營林署が嚴戒

警城耶馬溪として知られてゐる小川から川前までの溪谷は秋雨に洗はれて秋色いよ濃やかとなり日毎に觀楓の人達、非常な賑はひを呈してゐるがこれ等風流人は折角満山を彩つた紅葉の枝を手折つて自宅に持ち歸るため風致にとむ姿も觀風景な丸裸の楓樹となる恐れあるので平營林署では駐在森林主事をして不風流な人達の盜伐を警戒してゐる

が右について平岡營林署長は語る

一二畝歩の畑に 五十三種の作物

錦青年團が土地の集約利用
家庭蔬菜園の試み

事試験場園藝部で經營してゐる家庭蔬菜園を實行すべく詳細なる説明表を配付したがこれは五人から七人位

漸く設立 平町旅館組合

御大典を好機よ

平町の旅館組合は大正十年ころ創立されたものだが何等組合事業をなさぬので有

募集

文藝其他投稿を募集します

立後始めての總會を開催種々協議を遂げたが右につき平署長は語る

「組合が有名無實である結果旅館毎に宿泊者の待遇が異つて居り従つて宿泊料の如きも一致して居らぬことは外人に非常な不快を與へるものでありますよ、組合が確實に設立され旅館業者を統一するといいことは平町として甚だ喜ぶべきことである」云々



面白

手品大原錦

薄く適宜に切り、暫く水に浸けて灰汁を抜きます。それから熱湯に鹽少々入れた中に水氣を切つて入れ軟かに茹ます、能く茹だりましたら裏濃しにかけて再び鍋にもどして牛乳二勺を加へ鹽と胡椒で味をつけましてこれをひき筒に入れ少し太い口金を付筒のない時は西

共濟記念事業

平町十五丁目警城共濟病院にて御大典記念として本月一日から衛生試驗所を開始したが更に來月一日より病氣相談所及び貧民救療所を新設すると

大喜びの子供達

壽司詰めの大盛況

昨日の平劇場

白銀青年分團の子供會

花澤輝一君のラヂヲ放送を換した

童話が あり續いて可憐な幼稚園兒童の演技數番何れも大喝采の後からは過日仙台で放送した平第二校の生徒三名が金澤ミエ先生の伴奏で獨唱を演じ新妻佐喜柱社中の琴曲、優しい童謡踊り、川崎本社長の童話「下駄大明神」柏木勝利君の

藝妓が卒倒

縣社へ參詣し

平町藝妓百四十餘名は十日午後二時谷口組合長に引卒され縣社子齋倉神社に參詣した際新田町福清抱へ藝妓千葉縣流山町玉香こ小野田すみ(三)は突然卒倒し社務所に收容手當を加へたがなか／＼の重態だと

伊坂氏の美擧

前平町伊坂員正氏は町長辭職以來鍛冶町の自邸に悠々自適の閑境地にあるが御大典に際し石城訓育院並に免囚保護財團平自營會に對し各五十圓宛の寄附を申出た

演藝大會

祝 民友主催にて

福島民友新聞社主催にて十五日午後四時より平劇場に於て御大典奉祝縣下演藝大會を開き過般同社にて行つた紙上投票の當選者が出演すると

斯くして人酔ひ、光に酔つた群集は當日の日出度き御大典を心ゆくばかり祝ひ奉り十二分の歡を盡して思ひ／＼に深更歸宅した

佑賢學報發行

平町私立佑賢學會長大和田豊吉氏は豫て御即位記念佑賢學報を創刊すべく計畫中の處この程いよ／＼一切の準備了了し今月中旬までに發刊

配本の豫定であると

陵君のお伽琵琶其他數々の番組何れも子供達の喜ばざるなく日の暮る迄歡聲が場内を歴した此日同團では七十歳以上の高齢者十數名を招待し養老杖や記念品を贈り區の委員や分團員總出で接待に努めて居たのは見物者をして頗る感動せしめた